

# 東京文化ビジョン 素案

平成27(2015)年 1月

東京都

目次	「東京文化ビジョン」の性格及び理念 …… 1
	東京文化ビジョンの文化戦略と 主要プロジェクト …… 5
	文化戦略 1 …… 7
	文化戦略 2 …… 9
	文化戦略 3 …… 11
	文化戦略 4 …… 13
	文化戦略 5 …… 15
	文化戦略 6 …… 17
	文化戦略 7 …… 19
	文化戦略 8 …… 21
	東京文化ビジョンの実現に向けて …… 23
	資料編 …… 25

# 「東京文化ビジョン」の性格及び理念

---

## ビジョンの性格

- 東京都の芸術文化振興における基本指針
- 2020年大会に向けた文化プログラムの先導的役割
- 国際的に発信する東京の文化政策の世界戦略

## ビジョンの理念

### 東京の芸術文化のオリジナリティ溢れる多様性を発信する

東京は、日本古来からの精神に裏打ちされた文化に加えて、江戸開府以来、人々が往来するなかで多様な芸術や文化を受け入れ発展してきた。このような伝統と現代、東洋と西洋が交錯する都市東京は、世界のどこにもない多彩で奥の深い文化都市である。こうした独自性と多様性が秘められている東京が持つ固有の文化価値を東京のブランドとして内外に強く打ち出していく。

### 東京の更なる成長の柱として芸術文化を位置づける

東京には、多彩な文化的特徴を持ち、文化施設や個性溢れるコンテンツなどポテンシャルに満ちた数多くの地域が存在する。東京が更なる成長を続ける上では、芸術文化を都市の装置として重要な構成要素に位置づけ、質的な豊かさの向上とともに経済の活性化を図り、活力に満ちた世界のどこにもない成熟した文化都市を目指していく。

## オリンピック・パラリンピックを契機に有形・無形の文化レガシーを創出する

2020年オリンピック・パラリンピックは、東京の芸術文化振興を飛躍的に推し進め、東京を世界でも類をみない独自性を持つ文化都市とする大きなチャンスである。そのため、2020東京大会においてこれまでにない多彩で魅力的な文化プログラムを展開することにより、「人」、「仕組」、「場」、といった有形・無形のダイナミックなレガシーを創出し、次世代に継承していく。

## 東京を舞台にあらゆる人々の交流と世界中のアーティストの創造活動を促進し、 芸術文化の力を世界平和の実現につなげていく

昨今のアーティストたちは、社会課題と積極的に向き合い、芸術文化ならではのソリューションを生み出す取組を展開している。芸術文化の力は、福祉や教育、地域振興などの社会課題の解決に資する可能性も秘めている。今後は、東京を舞台に、子供や障害者など世界のあらゆる人々が芸術文化を通し交流するとともに、世界中のアーティストが東京を訪れ創造活動を行うことにより、国境を越えた相互理解と地球規模の連帯感を育み、世界平和の実現へとつなげていく。

## 芸術文化の力で東京を変える取組を全国に広げ、文化が牽引する新たな日本をオールジャパンで創出する

東京は、芸術文化資源を再構築し、新たな可能性を顕在化させることにより、都市としての価値を高め、魅力ある都市として将来に向けて発展し続けることができる。こうした取組を東京だけでなく全国に広げるとともに、国内での文化的交流を加速させ、芸術文化により世界から注目を集める新しい日本を作っていかなければならない。そこで、都、国、自治体をはじめ、アーティストや芸術文化団体、NPOや大学、デベロッパー等の企業、都民や来訪者など、あらゆる人々や団体が、この文化ビジョンを実現するための担い手として不可欠な存在であることを呼びかけ、ネットワークの構築や連携関係の強化を推進していく。

# 東京文化ビジョンの文化戦略と主要プロジェクト

## 世界に提示する8つの文化戦略

## 文化戦略が目指す方向性

## 東京文化ビジョンを実現する10の主要なプロジェクト

**文化戦略 1**  
**伝統と現代が共存・融合する東京の独自性と多様性を追求し、世界発信**

- 伝統と現代が共存・融合する東京の芸術文化の魅力をも、より一層世界に浸透させていく。
- 東京の独自性の源泉ともいえる伝統文化を次世代に引き継ぎ、保存、継承、発展させていく。
- 変貌し続ける現代社会における伝統の価値を見直し、その潜在力に新たな光を当てる。

**文化戦略 2**  
**多彩な文化拠点の魅力向上により、芸術文化都市東京の発信力を強化**

- 多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域において、芸術文化を都市の装置として機能させ、文化拠点として場の魅力を向上させる。
- 世界の人々へ東京の芸術文化の魅力を理解してもらえよう、多様な特徴を持つそれぞれの拠点を際立たせ、東京全体の魅力を向上させ発信する。

**文化戦略 3**  
**あらゆる人が芸術文化を享受できる社会基盤を構築**

- すべての子供や青少年、障害者が芸術文化を享受できる仕組みを推進し、世界をリードする成熟都市として、都市の豊かさを創出する。
- 文化施設において子供や高齢者、障害者、外国人など、様々な人々がストレスなく芸術文化に触れることができる環境を整える。
- すべての市民が創造活動に参加でき、市民の主体的な活動が豊かな社会の未来につながっていく。

**文化戦略 4**  
**新進若手を中心に多様な人材を国内外から発掘・育成、新たな創造とビジネスのチャンスを提供**

- 世界をリードし文化面で東京のダイナミズムを牽引する新たな才能、人材の発掘や育成を、グローバルな視点から展開していく。
- 国内外の才能あるアーティストやデザイナーなどを積極的に受け入れ活動の場を提供することにより、彼らが魅力を感じて自然と集まる世界的な拠点とし、文化都市としてのポテンシャルを高めていく。
- 才能あるアーティストの革新的な表現を可能とするとともに、ビジネスへの挑戦を支援する。

**文化戦略 5**  
**都市外交を基軸に国際的な芸術文化の交流を促進し、グローバルな競争力を高める**

- 国際的な発信力の高いフェスティバル等の構築とともに、アジアにおける芸術文化市場のハブ機能を強化し、拠点としての地位を堅持することによって、都市としての価値を高め、国際的な競争力を向上させていく。
- 海外の主要な文化機関・組織とのネットワークを発展させ、異文化間の相互理解の継続的な促進を図り、文化面での都市外交を推進する。

**文化戦略 6**  
**教育、福祉、地域振興等、社会や都市の課題に芸術文化をソリューションとして活用**

- 芸術文化の力を活用して、教育、福祉、地域振興などの領域における課題の解決に貢献していく。
- NPOや企業等、様々な組織とパートナーシップを構築し、社会問題の解決を推進する先駆的、実験的な取組を積極的に支援していく。

**文化戦略 7**  
**先端技術と芸術文化との連携によりクリエイティブ産業を支えるイノベーションを推進**

- 時代をリードする革新的な技術による新しい芸術文化の創造、流通、鑑賞・体験の可能性を追求する。
- 東京の経済成長を牽引するクリエイティブ産業の振興を推進するため、イノベーションを促す寛容性の高い環境をつくり、才能ある多様なクリエイティブ人材とグローバル企業との新たな出会いを創出する。

**文化戦略 8**  
**東京のポテンシャルを体現し、世界から認知される文化プログラムを実現**

- 2020年五輪大会を機に、都市自体を劇場とした、先進的で他に類を見ない東京のダイナミズムを象徴する文化プログラムを展開し、世界に向けて東京の魅力を発信する。
- 2020年に向けた取組を、オリンピック・パラリンピックの開催によって創出する有形・無形のレガシーにつなげていくとともに、それを次世代に継承し、世界一の文化都市東京を実現する。

● **世界クラスの都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭（仮称）」の構築**

演劇と伝統芸能の公演を集約化し、舞台芸術の祭典「東京舞台芸術祭（仮称）」としてブランド化。その後、開催時期が近い音楽、美術等のイベントを加え、東京全体で開催するフェスティバル「東京芸術祭（仮称）」として推進

● **子供や外国人に向けた本物の伝統芸能体験による伝統文化の継承と発信**

一流の実演家による能、狂言、舞踊、華道、茶道、民俗芸能の神楽や木遣りなどの伝統芸能を、都内全域の小中学校と連携する体験プログラムや、海外からの来日時に短時間で鑑賞・体験が可能なプログラムを展開

● **多彩な芸術文化拠点の魅力向上と世界発信**

上野、池袋、渋谷、六本木、東京駅周辺、品川、臨海部、両国・深川、秋葉原、神楽坂、多摩地域等の魅力を向上し、世界へ発信

● **すべての子供や青少年が芸術文化に関わることができる大規模なエデュケーション・プログラムを展開**

都立文化施設をはじめ、児童館や公民館など、多様なジャンルのアーティストとの交流や多彩な芸術文化体験ができる「場」を創出

● **芸術文化施設のネットワークによる共通バス等の導入**

上野「文化の杜」で共通バスの仕組みを導入し、首都圏における広域バスとして拡大。開館時間延長などを通じた共通イベント等の実施提唱

● **アールブリュットなど障害者アートの世界的な拠点となるプロジェクトの展開**

現代美術館にアールブリュット発表の場を設置するとともに、ロンドンのアンリミテッド等とも連携し障害者アートの活動を推進

● **若手の登竜門としてのアワードの創設など、才能ある新進若手人材の積極的な受け入れや海外進出への支援**

多分野で国際的活動を支援する賞の創設や奨学金等を活用した海外進出を支援。継続的に人材を育成

● **都市外交の基軸に芸術文化を位置づけ、欧米やアジア都市との都市間交流を展開**

欧米各都市と現代アート、舞台芸術、アールブリュット等で交流を拡充し、アジア都市とも博物館の文化交流等を促進

● **芸術文化の力を活用した東北の被災地支援や全国の地域づくりへの支援**

地域の賑わいを創出する芸術家やNPOなどの取組を全国に展開

● **リオ大会以降に展開される文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトを国内外で展開**

あらゆる分野のアーティストが参加する「東京キャラバン（仮称）」や、大規模な「障害者アートプログラム」などを展開。リオ大会でも、日本文化を紹介、発信

## 伝統と現代が共存・融合する 東京の独自性と多様性を追求し、 世界発信

### 東京の持つポテンシャル

(資料1～6参照)

- 東京の芸術文化は、現代と伝統が共存・融合する独自性・多様性に支えられており、過去・現在・未来を示す文化が、互いにシンクロし価値を高めている。
- 能や歌舞伎といった伝統芸能をはじめ、クラシック音楽や現代演劇、コンテンポラリー・ダンス、ポップカルチャーなど、多種多様な芸術を市民の誰もが楽しみ、受け入れる土壌がある。
- 現代的なファッション、デザイン、建築などの分野においては、伝統の中で培われてきた未知なるトレンドの発信源として、世界に新鮮な影響を与え続けている。



一流の芸術家の指導による、子供達の伝統芸能体験の発表会(平成25年度)  
(東京文化発信プロジェクト 東京発・伝統WA感動「キッズ伝統芸能体験」)

- 伝統と現代が共存・融合する東京の芸術文化の魅力を、より一層世界に浸透させていく。
- 東京の独自性の源泉ともいえる伝統文化を次世代に引き継ぎ、保存、継承、発展させていく。
- 変貌し続ける現代社会における伝統の価値を見直し、その潜在力に新たな光を当てる。

### 施策の方向性

#### 東京の多様で奥の深い芸術文化を顕現した、 大規模フェスティバルを展開し、世界発信する

- ▶伝統芸能、舞台芸術、音楽、現代アートなどの都市型総合芸術祭を構築する。まず、伝統芸能も含めた舞台芸術において、アーティストなど海外の人材も活用し、いくつかの文化施設を核とした展開を図るとともに、多数の小劇場や公共空間を組み合わせる形で東京全体としての演出を行い、ジャンルの壁を越えたフェスティバルを構築する。

#### 東京の強みである技術力やデザインと芸術文化を協調させ、 新たな作品創造や芸術表現を生み出す

- ▶新たな領域を開拓していくため、時代をリードする革新的な技術者とアーティストとの協働を推進する。

#### 現代における伝統の意義を理解し、次の時代に新たな文化を 創出するため、次代を担う子供たちに伝統文化の価値を 正しく伝え継承する

- ▶茶道、三味線、落語、狂言等、幅広く学校と連携した都内全域をカバーする小中学生向けの伝統文化体験プログラムを展開する。

#### 東京の芸術文化の奥底に色濃く流れている、 長い歴史の中で培ってきた日本の伝統文化の真髄を 外国人に伝える体験・鑑賞などの取組の強化

- ▶一流の実演家による能や狂言、舞踊、茶道、華道、民俗芸能の神楽、木遣りなど、来日時に短時間で理解するための体験・鑑賞プログラムを伝統発信拠点を中心に展開する。

#### 海外向けの都市広報を強化し、東京の芸術文化の魅力を世界発信

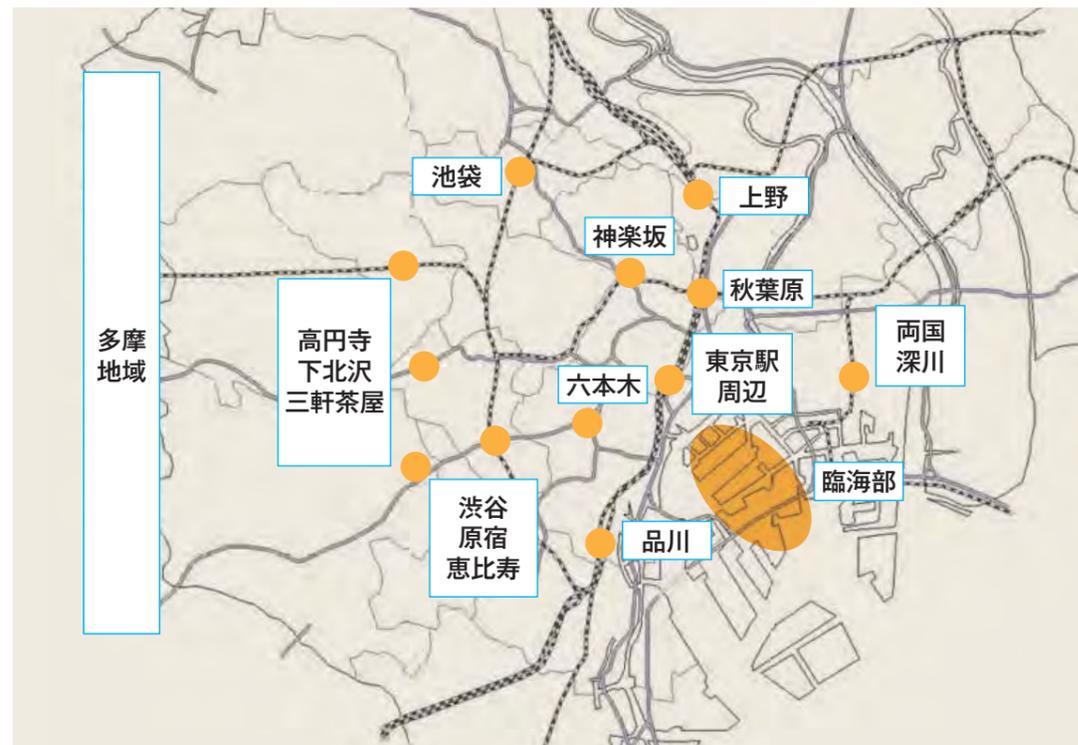
- ▶国際的な放送事業者との連携や海外メディアとの関係構築による情報発信を展開するとともに、ブランディング戦略に基づく取組の重要な要素としても国内外に広く発信する。

# 多彩な文化拠点の魅力向上により、 芸術文化都市東京の発信力を強化

## 東京の持つポテンシャル

(資料7・8参照)

- 上野、六本木、池袋、東京駅周辺、渋谷には、美術館・博物館、ギャラリー、アークスペース、ホール、映画館など、膨大な数の多様な文化施設が集積している。
- アニメ、ゲームなどポップカルチャーで有名な秋葉原や、KAWAiiを世界に発信するファッションの街・原宿、江戸の下町情緒を感じさせる神楽坂等、個性溢れるコンテンツを持つエリアも数多く存在する。
- 都内には、今後都市開発に取り組むエリアや、芸術系大学が集積した多摩地域等、芸術文化を都市の装置として機能させる潜在性を持った地域もある。



芸術文化資源が集積する都内地域の例

- 多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域において、芸術文化を都市の装置として機能させ、文化拠点として場の魅力を向上させる。
- 世界の様々な人々に東京の芸術文化の魅力を理解してもらえよう、多様な特徴を持つそれぞれの拠点を際立たせ、東京全体の魅力を向上させ発信する。

## 施策の方向性

### 特徴的な芸術文化資源を持つ地域において、都、国、地元自治体、企業、芸術系大学、NPO、芸術文化団体等とのパートナーシップの下で街づくりを活性化

- 上野「文化の杜」を中心とした日本を代表する文教施設が集積する「上野」
- 都市開発と連動して、文化資源の整備を推進する「池袋」、「渋谷」、「六本木」、「東京駅周辺」や、今後、大規模開発が進む「品川」
- 競技会場が集中するとともに、オリンピック・パラリンピックレガシーとして芸術文化を街の構成要素に取り込む「臨海部」
- 江戸東京博物館と東京都現代美術館を中心として伝統と現代が共存する「両国・深川」や、世界的にポップカルチャーの代名詞ともなっている「秋葉原」、江戸情緒漂う「神楽坂」など
- 郷土芸能、魅力的な都市公園、芸術系大学などが集まる「多摩地域」
- ▶アーティストや、街の文化機能を担うデベロッパー、NPOなどと協働し、それぞれの芸術文化拠点の一層の魅力強化策を実施する。
- ▶特色を活かしたフェスティバル等、地域で検討されたアイデアをアーツカウンシル東京と民間の連携により事業として取り組む。
- ▶オリンピック・パラリンピック開催に向けて実施するリーディングプロジェクトや文化プログラムを上野をはじめとする文化拠点で展開し、国内外の注目を集める。

### 海外向けの都市広報を強化し、文化拠点の魅力を世界発信

- ▶国際的な放送事業者との連携や海外メディアとの関係構築による情報発信を展開するとともに、ブランディング戦略に基づく取組の重要な要素としても国内外に広く発信する。

## あらゆる人が 芸術文化を享受できる 社会基盤を構築

### 東京の持つポテンシャル

(資料9・10参照)

- 東京・日本では幼少期からピアノ、ヴァイオリン、バレエ、書道などを習う子供が多く、市民たちが創作した作品の発表活動も活発に行われているなど、巨大な文化のプラットフォームが存在する。
- 東京では、各地の公立美術館や公民館などの公共施設が、市民の文化活動に利用されている。また、文化に関心を寄せる企業も多く、ミュージアムやホールなどを設置し、芸術文化の振興に貢献している。
- 様々なセクターが芸術文化振興に携わっており、都民が伝統から現代までの多彩な芸術文化に身近で気軽に触れられる等、文化的刺激に満ちた豊かな日常生活を楽しむことができる機会が数多く存在している。



冬木陽(アトリエ・エレマン・プレザン)《あか》2012年 油彩、アルシュ紙  
©Atelier Elément Présent (「楽園としての芸術」展より、東京都美術館、2014年)

- すべての子供や青少年、障害者が芸術文化を享受できる仕組みを推進し、世界をリードする成熟都市として、都市の豊かさを創出する。
- 文化施設において子供や高齢者、障害者、外国人など、様々な人々がストレスなく芸術文化に触れることができる環境を整える。
- すべての市民が創造活動に参加でき、市民の主体的な活動が豊かな社会の未来につながっていく。

### 施策の方向性

#### すべての子供や青少年が芸術文化に主体的に関わることができる エデュケーション・プログラムの確立

- ▶学校や学童クラブ、公民館等の様々な場所において、あらゆるジャンルのアーティストとの交流や芸術文化体験ができる「場」を創出する。
- ▶学校における教育活動等において、子供たちが、日本の伝統文化はもとより、海外の芸術文化に触れる機会を拡充する。
- ▶都立文化施設において、芸術系大学や芸術文化団体等と連携し、子供たちが本物の芸術文化を体験するワークショップを積極的に展開する。それらの取組を発信し、国公立や民間の文化施設へ波及させる。

#### 都内文化施設の魅力向上及び首都圏芸術文化ネットワークの推進

- ▶上野において、芸術文化施設の連携によりICカードなどを使った共通パスの仕組みを導入する。これを踏まえ、首都圏における広域パスとして拡大する。
- ▶開館時間延長などを通じた夜間集客数の拡大に向け、共通イベントの実施提唱。
- ▶都立施設における多言語化やWi-Fi整備、収蔵品や展示品のデジタルアーカイブ化など、ソフト面での充実を図る。
- ▶舞台・施設機能の強化や施設のバリアフリー化等を図るための東京文化会館の全面改築、江戸東京たてもの園の展示建物の充実、収蔵・研究・展示機能を持った新施設の設置など、ハード面での検討も進め、世界に開かれた魅力溢れる文化施設として国内外にアピールする。

#### 障害者アートへの支援や障害者の鑑賞・参加を促す活動の推進等、 文化の面で世界で最も進んだバリアフリーな都市として認知される取組の展開

- ▶現代美術館にアールブリュットの発表の場を設置するなど、都立文化施設が民間文化施設等と共に「障害者アート」の東京としての存在感を発揮していく。
- ▶ロンドンの「アンリミテッド」などとも連携して、障害者アートに関わるアーティストやNPO等の活動を推進する。

## 新進若手を中心に多様な人材を 国内外から発掘・育成、新たな創造と ビジネスのチャンスを提供

### 東京の持つポテンシャル

(資料11参照)

- 歴史的建造物と斬新な現代建築が共存する街並み、江戸時代から続く伝統や技、日々の暮らしに彩を与えてくれるデザイン、展覧会やコンサート等、東京の都市の魅力は多様な人材・技術者による創造活動に支えられている。
- 特にポップカルチャーと言われる分野でのクリエイターたちのオリジナルな発想は、世界からも注目を浴びている。
- 東京には芸術系の教育機関が集積し、アートやデザインの未来を担うクリエイターを志す学生数は世界有数の規模を誇る。



アーティスト・イン・レジデンスでの創作風景

- 世界をリードし文化面で東京のダイナミズムを牽引する新たな才能、人材の発掘や育成を、グローバルな視点から展開していく。
- 国内外の才能あるアーティストやデザイナーなどを積極的に受け入れ活動の場を提供することにより、彼らが魅力を感じて自然と集まる世界的な拠点とし、文化都市としてのポテンシャルを高めていく。
- 才能あるアーティストの革新的な表現を可能とするとともに、ビジネスへの挑戦を支援する。

### 施策の方向性

#### 現代美術、音楽、演劇、映像など、国際的に高い発信力を持つ才能の 海外進出を支援するとともに、海外の人材を積極的に受け入れるなど、 様々な分野の交流を促進

- ▶ 海外のアーティスト・イン・レジデンスと連携し、自治体や企業、NPO等とともに才能ある人材を積極的に受け入れ、ジャンルを越えた交流を進める。
- ▶ 海外の批評家、有力キュレーターなどとのマッチングやマーケットでのプロモーションにつながる海外進出を、様々な支援機関が有する奨学金制度等も活用して、推進する。
- ▶ 世界において活躍が期待できる多分野の新進芸術家に将来の国際的活動を支援する新人賞等を創設し、若手の登竜門とする。

#### 東京都現代美術館等を核とした世界的魅力を持つ創造拠点・ 発表の場の創出

- ▶ 内外の美術館との連携により、東京都現代美術館を世界に冠たる現代アートの創造と発表の場とする。
- ▶ 現代アートの分野で新人賞等を得た若手芸術家に対しては、東京都現代美術館における展覧会の道を開く。

#### ビジネスチャンスの提供と新たな創造を支える仕組みの構築

- ▶ マーケティングやプロモーションなどに精通したアートマネジメントの人材や、芸術文化を支える技術者を育成するため、企業、芸術系大学、NPO等と連携の上、育成カリキュラムの作成や相互交流を進めていく。

## 都市外交を基軸に 国際的な芸術文化の交流を促進し、 グローバルな競争力を高める

### 東京の持つポテンシャル

(資料12~14参照)

- 東京は、海外から年間約680万人を超える外国人を迎える世界でも有数の国際都市として発展。
- 各国のトップレベルのオーケストラの演奏会や世界有数の美術展が日常的に開催される文化都市である。
- 東京都美術館のリニューアルオープン記念として開催されたマウリッツハイス美術館展は、世界で最も来場者の多かったイタリア・ウフィツィ美術館の789,241人に次ぐ758,266人を記録する展覧会となるなど、芸術文化に関心が高い市民を持つ東京のマーケットのポテンシャルは高く、アジアの拠点としてのプレゼンスを発揮している。



エディンバラフェスティバルにおけるバレード

- 国際的な発信力の高いフェスティバル等の構築とともに、アジアにおける芸術文化市場のハブ機能を強化し、拠点としての地位を堅持することによって、都市としての価値を高め、国際的な競争力を向上させていく。
- 海外の主要な文化機関・組織とのネットワークを発展させ、異文化間の相互理解の継続的な促進を図り、文化面での都市外交を推進する。

### 施策の方向性

#### ベルリン芸術祭等、世界クラスフェスティバルに匹敵する 大規模フェスティバルを構築し、世界発信

- ▶伝統芸能、舞台芸術、音楽、現代アートなどの都市型総合芸術祭を構築する。まず、伝統芸能も含めた舞台芸術において、アーティストなど海外の人材も活用し、いくつかの文化施設を核とした展開を図るとともに、多数の小劇場や公共空間を組み合わせる形で東京全体としての演出を行い、ジャンルの壁を越えたフェスティバルを構築する。

#### 都市外交の基軸に芸術文化を位置づけた都市間交流の拡充

- ▶ロンドン、ベルリン、パリ、NY等の欧米各都市と現代アート、舞台芸術、映画、アールブリュットなどによる都市間交流を拡充する。
- ▶北京、ソウル等のアジア都市とも、都市歴史博物館の文化交流や、舞台芸術、映画、伝統文化などによる都市間交流を促進する。

#### 海外の芸術文化団体、文化施設との連携を強化し、 グローバルな発信力を高め、芸術文化交流を積極的に展開

- ▶美術館・博物館・ホールが持つ海外ネットワークをさらに強化し、各施設の収蔵品や研究成果を活かした発信力の高い企画展など、連携を積極的に促進する。
- ▶アーツカウンシル東京とアーツカウンシル・イングランドとの連携による世界水準の国際共同制作を展開する。

## 教育、福祉、地域振興等、 社会や都市の課題に、 芸術文化をソリューションとして活用

### 東京の持つポテンシャル

- 東京は、世界が経験したことのない超高齢化社会をはじめ、少子化、人口減少等、都市の課題が先鋭的に現れる都市である。芸術文化の視点からこれらの課題に向き合い、その解決をリードしていくことが期待されている。
- 東京をはじめ日本は、東北の震災を経て、芸術文化によって生まれる人とのつながりや心のケアの重要性を経験した。
- 近年、芸術文化が教育や福祉、地域振興などの面で大きな成果、芸術文化ならではのソリューションをもたらすようになってきている。それらの活動は地域の芸術文化活動として、NPOを中心に草の根の活動としても広がりを見せつつある。



子供たちの豊かな感性を育む芸術文化プログラム  
〔「Museum Start あいうえの」 東京文化発信プロジェクト、東京都美術館、東京藝術大学〕

- 芸術文化の力を活用して、教育、福祉、地域振興等の領域における課題の解決に貢献していく。
- NPOや企業等、様々な組織とパートナーシップを構築し、社会問題の解決を推進する先駆的、実験的な取組を積極的に支援していく。

### 施策の方向性

#### 街づくり等における課題の解決を推進する 先駆的な芸術文化活動や実験的な取組の推進

- ▶地域のコミュニティづくりなどにおいて、青少年や高齢者等の市民がアーティストやNPOなどとともにを行うアート活動の取組を支援する。

#### 東日本大震災の被災地や全国の地域づくりの取組などにおける、 芸術文化を用いた交流の場を創出

- ▶多彩なパフォーマンスやワークショップなどにより地域の賑わいの創出を展開しているアーティストやNPO等の先駆的な取組を、積極的に発信し、東京から全国に広げていく。

#### 子供や高齢者、外国人等と芸術文化をつなぐ民間活動への支援

- ▶子供の可能性を引き出すことを目的に、演劇ワークショップなどを展開する児童と芸術文化をつなぐNPOや芸術系大学の取組などを支援する。併せて、高齢者や外国人等と芸術文化をつなぐ民間団体や企業などの取組も支援する。

#### 芸術文化以外の領域で活躍する先駆者とアーティストなどとの 異分野交流による新たな社会問題解決手法の創造

- ▶コミュニケーションツールの開発者など、芸術文化以外の領域で活躍する先駆者とアーティストや芸術文化団体との交流を推進し、様々な社会問題の解決に取り組む。

## 先端技術と芸術文化との連携により クリエイティブ産業を支える イノベーションを推進

### 東京の持つポテンシャル

(資料15・16参照)

- 東京・日本は、モノと人がつながっている伝統的なものづくりの精神に支えられ、介護ロボット、ヒューマノイドといった生産用ロボットではない人間と共存するロボット技術等、独自の発想により世界の様々な技術革新をリードしている。
- 近年では、先進的なテクノロジーとアートを融合し、新たな表現を追求するメディアアートの世界においても世界的評価を得ている。
- アニメ、ゲーム、デザイン、ファッション、映像といった東京発のポップカルチャーも世界で高く評価され、それらを含む最先端のクリエイティブ産業が集積、進化する都市として、その地位を確立している。



村松亮太郎氏の総合演出による東京駅に投影されたプロジェクションマッピング  
(「TOKYO HIKARI VISION」東京ミチテラス2012より)

- 時代をリードする革新的な技術による新しい芸術文化の創造、流通、鑑賞・体験の可能性を追求する。
- 東京の経済成長を牽引するクリエイティブ産業の振興を推進するため、イノベーションを促す寛容性の高い環境をつくり、才能ある多様なクリエイティブ人材とグローバル企業との新たな出会いを創出する。

### 施策の方向性

東京の強みである高度な技術力とアーティストの柔軟な創造力により  
先端技術と芸術文化を融合させ、新たな作品創造や芸術表現を生み出す

- ▶新たな領域を開拓していくため、アーティストと時代をリードする革新的な技術者や企業とのマッチングを推進する。
- ▶制作発表の場として東京都現代美術館をはじめとした都立文化施設を活用する。

### 新時代の鑑賞・体験システムの構築

- ▶新技術を駆使したライブイベントや、世界中の人々が東京から発信される芸術文化をボーダレスに鑑賞・体験できる事業など、デジタル時代ならではの仕組みを企業等と開発する。

### クリエイティブ産業の活性化を促す環境の整備

- ▶都市開発にクリエイティブ産業分野の機能を取り入れ拠点化を計画するデベロッパーをはじめ、教育機関や企業などと協力して、クリエイティブ産業の人材育成等の活性化を促進する。

## 東京のポテンシャルを体現し、 世界から認知される 文化プログラムを実現

### 東京の持つポテンシャル

- 都はこれまでの間、文化事業の強化を行うために、2006年に東京芸術文化評議会を設置。2008年4月には「東京文化発信プロジェクト」を立ち上げ、国際社会における東京の文化的プレゼンスの向上を目指し、多様な文化事業を推進してきた。
- さらに、東京都美術館や東京芸術劇場、東京都庭園美術館などの大規模改修にあわせて各施設の事業を拡充。2012年11月には民間の芸術文化活動の支援機関であるアーツカウンシル東京を発足させるなど、着実に、2020年大会の文化プログラムを推進する基盤を整備している。



ピカデリーサーカス・サーカスにおけるパフォーマンス  
(ロンドン五輪文化プログラム)

- 2020年五輪大会を機に、都市自体を劇場とした、先進的で他に類を見ない東京のダイナミズムを象徴する文化プログラムを展開し、世界に向けて東京の魅力を発信する。
- 2020年に向けた取組を、オリンピック・パラリンピックの開催によって創出する有形・無形のレガシーにつなげていくとともに、それを次世代に継承し、世界一の文化都市東京を実現する。

### 施策の方向性

#### 2016年リオ大会以降に展開される文化プログラムの 先導的役割を果たす「リーディングプロジェクト」を国内外で展開

- ▶ 伝統芸能や演劇、音楽、映画、大道芸など多様な分野のアーティストが参加する「東京キャラバン(仮称)」を実施する。
- ▶ 国内外の多くの健常者と障害者が交流し、芸術文化を創造・体験する「障害者アートプログラム」を展開する。
- ▶ 世界中から人々が集まるリオ五輪の機会を捉え、日本の多彩な伝統文化等を発信する。

#### 都市を劇場とした先進的で他に類を見ない文化プログラムを展開し、 東京の魅力を世界に発信

- ▶ 2019年プレ大会や2020年本大会において、美術館・博物館、劇場ホールをはじめ、公園、道路、寺社仏閣等の公共空間も活用し、伝統芸能からポップカルチャーに至る多彩な芸術文化を多くの人々が日常生活の中で実体験できるような新たな試みを都市全体で展開する。
- ▶ 世界五大陸の音楽家によるオペラの制作・公演など、世界中の多様なジャンルのアーティストを東京に集結させ、多彩な芸術文化活動を共に展開する。
- ▶ 様々なプロジェクトごとにプロデューサーを選任するなど、芸術文化イベントの運営管理体制を確立させ、各プロジェクトを着実に開催する。

#### 2020年大会に向けた取組を通じて、有形・無形のレガシーを創出し、 次世代に継承

- ▶ リーディングプロジェクトや文化プログラム、エデュケーションプログラム、世界中のアーティストによる交流・創造・発信など、東京文化ビジョンを実現するための取組を通じて得られた人材やノウハウ等をレガシーとして、次代に継承する。

# 東京文化ビジョンの実現に向けて

## 様々な主体と大胆なパートナーシップによる 全員参加体制の構築

### ●芸術文化を多くの都民と共に作り上げるための仕組みづくり

すべての都民が気軽に作品を創造・発表できる舞台や、相互の意見交換が可能な環境を日常の身近な場所やインターネット上につくっていく。

- ▶インターネットも活用した多くの人が参加可能なプラットフォームの構築
- ▶都市空間も活用した発表の場の提供

### ●国、自治体、企業、教育機関、アーティスト、芸術文化団体等との連携

東京は、企業メセナやNPOが活発に芸術文化活動を展開している。また、文化拠点では、芸術文化機能を取り込んだ都市開発が推進されている。ビジョン実現に向けて、これらの多様な主体と連携していく。

- ▶企業、交通機関、NPO等、様々な主体が参加する文化戦略の推進機関の設置

### ●オリンピック・パラリンピック組織委員会との連携

開催都市である東京は、組織委員会が策定する「TOKYO2020ビジョン」の基本コンセプト「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を踏まえ、東京文化ビジョンを実現するための具体的な取組を推進する。

- ▶リオ五輪開催時に組織委員会等と連携し、日本の多彩な伝統文化等を発信するリーディングプロジェクトを展開

### ●全国との連携による東京発・日本文化の魅力発信、 東京の芸術文化と地方文化の相互交流

日本の首都である東京は、全国の特徴ある様々な地方文化を発信する重要なハブ機能を担っている。都は、各道府県と連携し、東京を日本文化を世界に発信するプラットフォームとすると共に、東京で展開される多様な芸術文化と特色ある地方の文化事業の共同制作を推進する。

- ▶外国人が東京において地方文化を体験・鑑賞できる環境の整備
- ▶様々なジャンルにおける地方と東京の共同制作の推進

## 史上最高のオリンピック・パラリンピックを実現する 都の執行体制の整備

### ●芸術文化施策の中核的役割を担う アーツカウンシル東京の体制・機能強化

都は、芸術文化を推進するグローバルスタンダードな機関「アーツカウンシル」を日本で初めて本格的に設置。今後は文化プログラムの展開はもとより、東京の芸術文化施策の中核的役割を担う存在として、アーツカウンシル東京の更なる体制と機能強化を図っていく。

- ▶アーツカウンシル東京の大幅な人員増、アーツカウンシル・イングランド等への研修派遣
- ▶リーディングプロジェクト等、東京文化ビジョンの推進実行機関として展開

### ●2020東京大会を踏まえた都立文化施設の新たな運営方針の策定

都には、伝統、現代美術、演劇、写真、音楽など、多彩かつ日本有数の都立文化施設が7館ある。東京文化ビジョンの実現に向けては、これら都立の文化施設を最大限に活用し、国内有数の存在から世界的な施設へと変貌を遂げることを目指す。

- ▶各館のミッションに基づく新たな運営方針を策定・展開

### ●芸術文化振興基金の創設

東京文化ビジョンを具体化するための財政的な裏付けとして、芸術文化振興基金を設置する。

- ▶東京文化ビジョンを実現するための基金の効果的活用

## 芸術文化の力を東京のブランド価値として活用し、 国内外へ発信

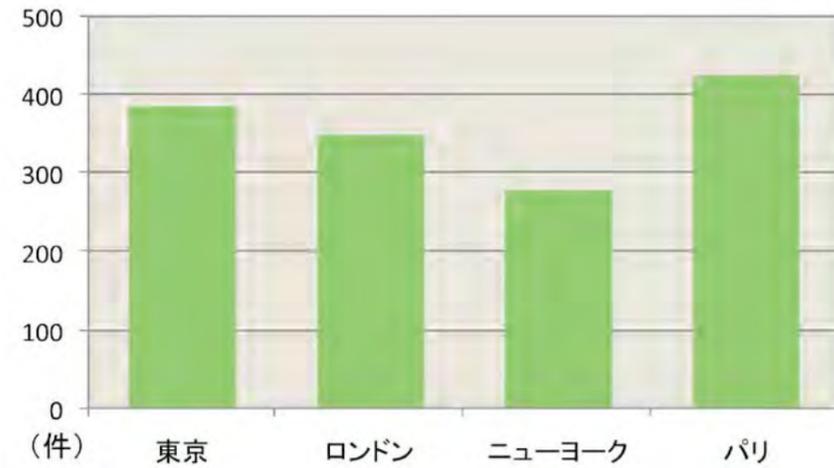
伝統と現代が共存・融合する東京の芸術文化の独自性・多様性をブランディング戦略の重要な要素として国内外に広く発信する。

- ▶東京のブランディング戦略の具体的な施策と連携して東京文化ビジョンのプロジェクトを展開する仕組みを構築
- ▶東京の多様性を顕現した大規模フェスティバルや、先端技術と芸術文化の融合による新たな作品創造等を東京ブランドの一つとして発信
- ▶世界都市文化会議等の様々な機会に東京の文化の価値を東京ブランドの一つとして発信

# 資料編

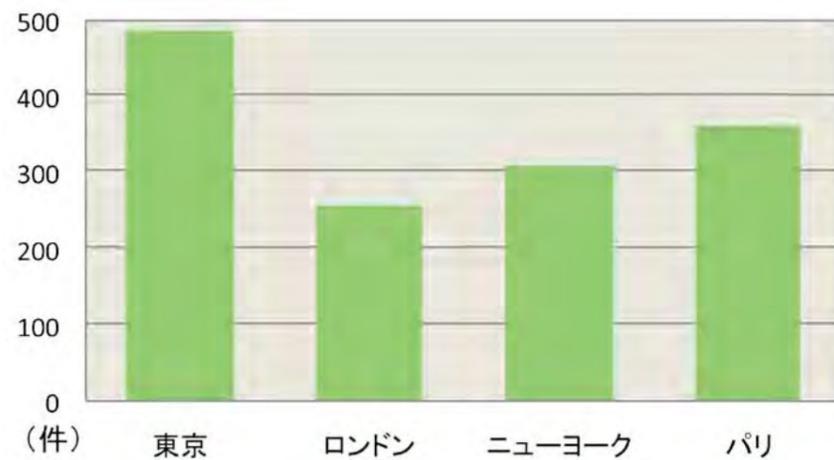
本資料は、東京が持つポテンシャルを示したものである。

## 資料1 世界主要都市におけるライブハウス、生演奏の会場数



資料:「世界都市文化報告書※」(2013年)  
 ※世界都市文化フォーラムの開催に伴って提示された指標に基づいた調査データを、世界の主要な都市が持ち寄って取りまとめた報告書

## 資料2 世界主要都市のフェスティバル、お祭りの数



資料:「世界都市文化報告書」(2013年)

## 資料3 プリツカー賞の受賞者

建築界のノーベル賞とも言われる、世界的にその権威を認められている表彰。建築を通じて人類や環境に一貫した意義深い貢献をしてきた存命の建築家を対象としており、多数の日本人建築家が受賞している。

順位	国名	人数
1	アメリカ	8
2	日本	7
3	イギリス	3
4	ブラジル、イタリア、ポルトガル、フランス、スイス	2

東京都調べ(2015年1月20日現在) 資料:ハイアット財団公式HP他

## 資料4 都内の伝統芸能の状況

日本の伝統芸能の大半が東京都内に存続し、公演も東京に集中している。

**邦楽** 全公演の内、都内公演の割合が50%を占める。

**邦舞** 公演日数は東京都が248日で全国第1位、公演回数は全国第2位。

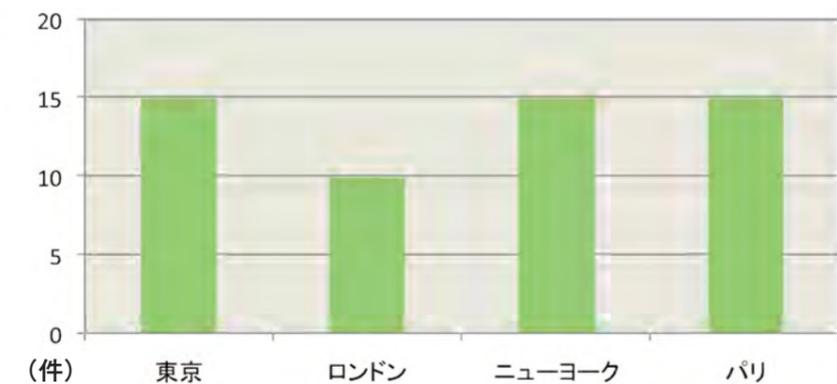
**能楽** 全公演の内、都内公演の割合が40%を占める。

**歌舞伎** 全公演の内、都内公演の割合が60%を占める。

**演芸** 首都圏公演数7,185件(2001年) → 8,600件(2006年) 増加傾向にある。

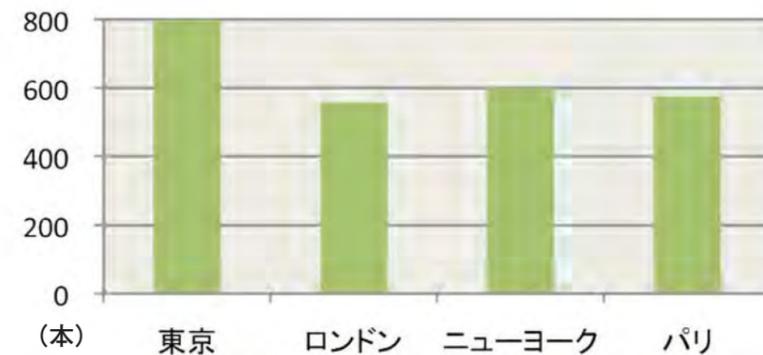
資料:「東京の伝統芸能の動向に関する調査報告書」  
 (社)日本芸能実演家団体協議会2008年

## 資料5 主要なコンサートホールの数



資料:「世界都市文化報告書」(2013年)

## 資料6 国内の劇場で上映される映画の数



資料:「世界都市文化報告書」(2013年)

## 資料7 特徴的な芸術文化資源を持つ地域

### 池袋

#### 美術館類

古代オリエント博物館、造幣東京博物館、熊谷守一美術館、切手の博物館等

#### ホール類

東京芸術劇場、舞台芸術交流センター(あうるすぽっと)、サンシャイン劇場、池袋演芸場、池袋小劇場、シアターグリーン、GEKIBA、シアターKASSAI、自由学園明白館講堂等

#### フェスティバル等

フェスティバル/トーキョー、アジア舞台芸術祭、池袋演劇祭等

### 神楽坂

毘沙門天像や旧常盤家といった文化財を始め、多くの史跡があり、江戸の下町情緒を感じさせる街並み

### 秋葉原

街全体でコンテンツ産業の商品を幅広く扱い、アニメやゲームなどポップカルチャーの代名詞として世界的に有名

### 上野

#### 美術館類

東京都美術館、東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館、東京藝術大学美術館、上野の森美術館、横山大観記念館等

#### ホール類

東京文化会館等

#### フェスティバル等

東京・春・音楽祭、上野の山文化ゾーンフェスティバル、上野ミュージアムウィーク等

### 高円寺・下北沢・三軒茶屋

#### 小劇場やライブハウスの集積

座・高円寺、本多劇場、ザ・スズナリ、OFF OFFシアター、駅前劇場、北沢タウンホール、「劇」小劇場、東演パラータ、シアター711、しもきた空間リパティ、下北沢アレイホール、小劇場楽園、世田谷パブリックシアター等

### 多摩地域

#### 美術館類

江戸東京たてもの園、三鷹の森ジブリ美術館、東京富士美術館、玉堂美術館等

#### ホール類

府中の森芸術劇場、パルテノン多摩、秋川キララホール等  
その他、地域に根差した郷土芸能や季節感溢れる魅力的な都市公園、特色豊かな芸術系大学が多数集積

### 渋谷・原宿・恵比寿

#### 美術館類

東京都写真美術館、Bunkamuraミュージアム、松濤美術館、根津美術館、山種美術館、太田記念美術館、戸栗美術館、国連大学ギャラリー、ギャラリーTOM、ワタリウム美術館、目黒美術館、ヒカリエギャラリー、gallery le deco、ラフォーレミュージアム原宿等

#### ホール類

渋谷公会堂、NHKホール、PARCO劇場、Bunkamuraシアターコクーン、Bunkamuraオーチャードホール、東急シアターオーブ、渋谷マッスルシアター、セルリアンタワー能楽堂、AiiA Theater Tokyo、CBGKシブゲキ!!、渋谷区文化総合センター大和田、Shibuya O-EAST、恵比寿エコー劇場等

#### フェスティバル等

ファッションウィーク東京、トーキョーデザイナーズウィーク等

### 六本木

#### 美術館類

国立新美術館、森美術館、サントリー美術館、森アーツセンターギャラリー、21\_21 DESIGN SIGHT、東京ミッドタウン・デザインハブ、フジフィルムスクエア、AXIS等

#### ホール類

サントリーホール、俳優座劇場、EX THEATER ROPPONGI、六本木ブルーシアター等

#### フェスティバル等

六本木アートナイト、ファッション・ウィーク東京、東京国際映画祭等

### 品川

劇団四季の劇場を擁する。今後、大規模開発が進む中で芸術文化を都市の装置として機能させる潜在性を持った地域

### 臨海部

オリンピック・パラリンピックレガシーとして芸術文化を街の構成要素に取り込むことが期待される

### 両国・深川

#### 美術館類

江戸東京博物館、東京都現代美術館、芭蕉記念館、深川江戸資料館、相撲博物館、日本文具資料館、すみだ北斎美術館(2016年度開館予定)、両国花火資料館、東京おりがみミュージアム等

#### ホール類

ティアラこうとう等

#### フェスティバル等

両国国技館

### 東京駅周辺

#### 美術館類

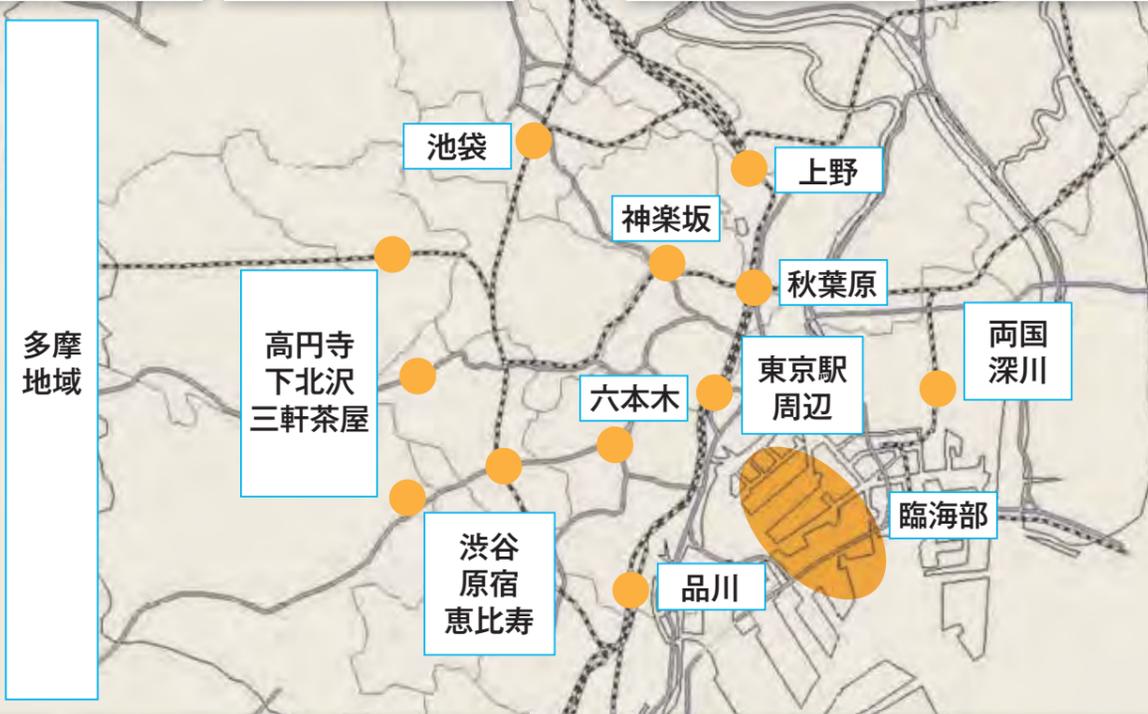
三井記念美術館、東京ステーションギャラリー、三菱一号館美術館、出光美術館、ブリヂストン美術館、国立近代美術館フィルムセンター、ポーラミュージアムアネックス、相田みつを美術館、(仮称)高島屋生活文化ミュージアム、東洋美術館、東京銀座画廊美術館、ギャラリー悠玄等

#### ホール類

歌舞伎座、新橋演舞場、ルテアトル銀座byPARCO、銀座みゆき館劇場、MAKOTOシアター銀座、銀座小劇場、博品館劇場、時事通信ホール、帝国劇場、東京宝塚劇場、日生劇場、シアタークリエ、よみうりホール、日比谷パティオ特設会場、観世能楽堂(2016~)等

#### フェスティバル等

アートフェア東京、AMIT(Art, Media and I, Tokyo)等

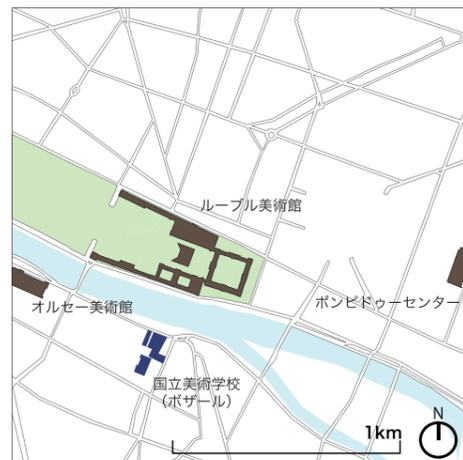


### 資料8 特徴的な芸術文化資源を持つ世界の主要都市



**東京(上野の杜)** 上図に含まれる施設の合計

年間来場者数	1,300万人
総延床面積	18.4万㎡
公園面積	約80万㎡(各施設敷地を含む)
収蔵品数	約400万点



**パリ** パリ中心部の国立博物館/美術館の合計

年間来場者数	1,700万人
総延床面積	31万㎡
公園面積	44万㎡
収蔵品数	約38万点 (ボンビドゥセンターを除く)



**ロンドン** ロンドン中心部の国立博物館/美術館の合計

年間来場者数	1,500万人
総延床面積	15.6万㎡
公園面積	—
収蔵品数	約700万点



**ワシントンD.C.(ナショナルモール)** ナショナルモール内のスミソニアン博物館/ナショナルギャラリーの合計

年間来場者数	2,760万人
総延床面積	38万㎡
公園面積	220万㎡
収蔵品数	約395万点 (ナショナルギャラリー/国立アメリカ歴史博物館/ハーシュホーン博物館/国立アメリカ・インディアン博物館/フォーリア美術館のみ)

資料:文化庁ホームページ「上野『文化の杜』新構想推進会議」より作成  
(備考) 図・年間来場者数等比較数値は2009年現在  
(上野地区の年間来場者数のみ2012年度現在)

### 資料9 芸術文化に親しむ都民の割合

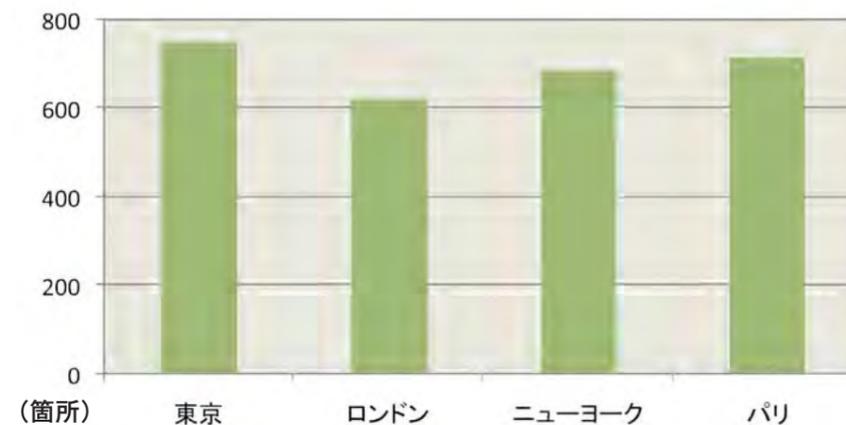
平成24(2012)年3月現在の10歳以上の推定人口は、11,998千人。そのうち、少なくとも1年間に一度は、芸術文化を鑑賞したか、芸術文化に参加をしたことがある人は、88.5%に上る。

各ジャンルの鑑賞、参加経験は、以下のとおり。

美術鑑賞	映画鑑賞	音楽鑑賞	舞台鑑賞
23.7%	43.3%	33.1%	18.3%
音楽活動	舞踊活動	伝統文化	
8.0%	2.0%	2.5%	

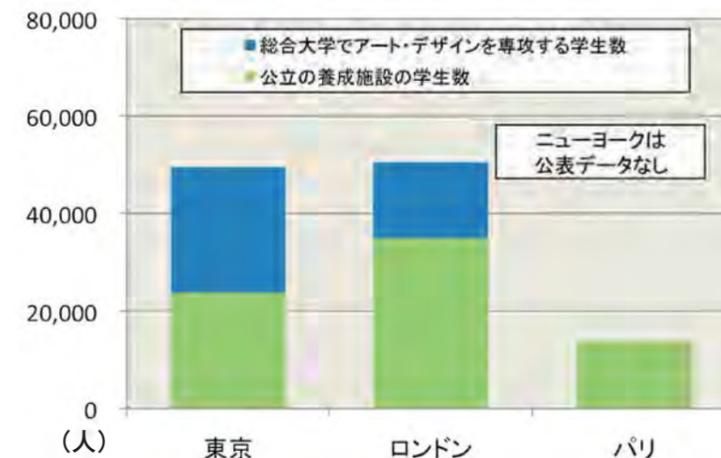
資料:2011年総務省「社会生活基本調査」

### 資料10 ダンススクールの数



資料:「世界都市文化報告書」(2013年)

### 資料11 文化の専門家を目指す学生の数



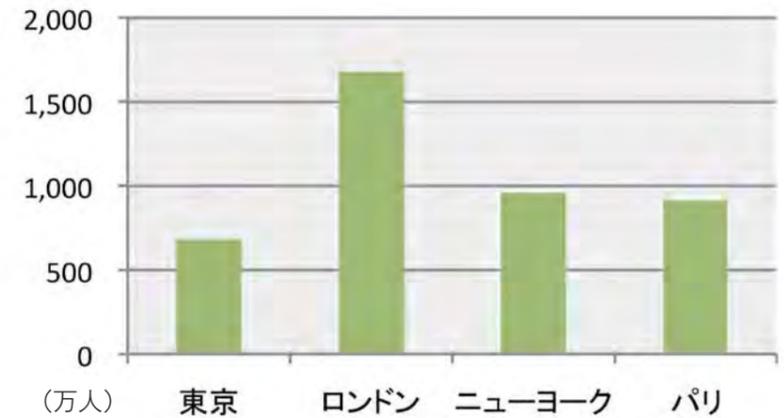
資料:「世界都市文化報告書」(2013年)

### 資料12 世界で最も来場者数が多い展覧会TOP10

順位	国名・都市名	展覧会名	美術館・博物館名	入場者数/日
1	日本・東京	マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝	東京都美術館	10,573 (758,266)
2	ブラジル・リオデジャネイロ	The Amazon: Cycles of Modernity	ブラジル銀行文化センター	7,928 (374,876)
3	ロシア・サンクトペテルブルク	Nineteenth-century Italian Painting	エルミターージュ国立美術館	7,747 (425,000)
4	米国・ワシントン	Colourful Realm: Ito Jakuchu (1716-1800)	ナショナル・ギャラリー・オブ・アート	7,611 (235,931)
5	英国・ロンドン	David Hockney RA: a Bigger Picture Royal	ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ	7,512 (600,989)
6	日本・東京	ポストン美術館 日本美術の至宝	東京国立博物館	7,374 (540,382)
7	ブラジル・リオデジャネイロ	Antony Gormley: Still Being Centro	ブラジル銀行文化センター	6,909 (271,443)
8	英国・ロンドン	Little Black Jacket	サーチ・ギャラリー	6,716 (161,176)
9	イタリア・フィレンツェ	Golden Flashes	ウフィツィ美術館	6,672 (789,241)
10	フランス・パリ	Monumenta: Daniel Buren	グラン・パレ	6,498 (240,414)

※( )内は総入場者数  
資料:THE ART NEWSPAPER, Number 245, April 2013

### 資料13 外国からの旅行者数



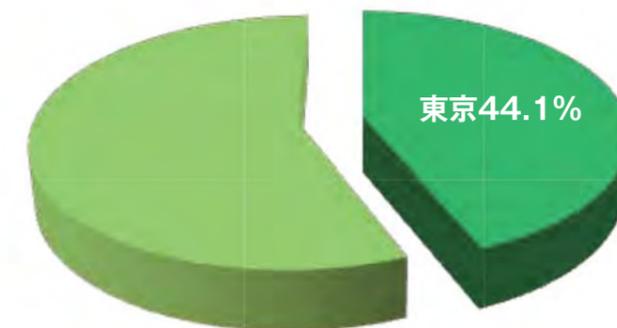
資料:森記念財団「世界の都市総合ランキング」(2014年)

### 資料14 アーティストの感性評価

	東京	シンガポール	ソウル	香港	北京
1) 文化的刺激	48.3	25.7	25.0	11.2	32.9
2) アーティストの集積	22.1	10.6	10.7	3.9	22.8
3) マーケットの存在	40.1	7.1	13.8	7.7	27.4
4) 創作環境(スタジオ、アトリエ資料、広さなど)	53.8	0.0	50.4	13.9	96.1
5) 日常生活の環境(住みやすさ)	57.8	51.2	49.6	49.0	31.8

(ポイント) 資料:森記念財団「世界の都市総合ランキング」(2014年)

### 資料15 クリエイティブ産業に従事する人の割合



資料:クリエイティブ産業の実態と課題に関する調査  
(2010年3月都産業労働局)

## 資料16 世界的なメディアアートイベントにおける受賞者 (アルス・エレクトロニカ)

アルス・エレクトロニカ(Ars Electronica)は、オーストリアのリンツで開催される芸術・先端技術・文化の祭典で、メディアアートに関する世界的なイベント。

1987年からは「アルス・エレクトロニカ賞」(Prix Ars Electronica)を主催し、メディアアートに革新をもたらした者を表彰。各部門の最優秀賞であるゴールデン・ニカ賞は、「コンピューター界のオスカー」とも呼ばれ、広く知られている。

また、2010年には、アルス・エレクトロニカ30周年を記念して、東京都現代美術館で企画展が催された。

### 主な日本人受賞者

年	部門	氏名	作品名
2014	Digital Communities部門 最優秀賞	西條 剛央	ふんばろう東日本プロジェクト
2014	Computer Animation / Film / VFX部門 優秀賞	五島 一浩	SHADOWLAND
2013	Digital Musics and Sound Art部門 優秀賞	SjQ++	sjqpp
2013	Interactive Art部門 優秀賞	藤幡 正樹	Voices of Aliveness
2010	Digital Musics and Sound Art部門 最優秀賞	黒川 良一	rheo: 5 horizons
2007	Digital Musics and Sound Art部門 最優秀賞	三輪 真弘	逆シミュレーション音楽

東京都調べ(2015年1月20日現在) 資料:Ars Electronica公式HP 他

### ご意見・要望の募集について

「東京文化ビジョン素案」に関する皆様からのご意見・要望を募集します。  
頂いたご意見・要望については、十分に検討を行い3月末に公表する  
「東京文化ビジョン」に反映させていただきます。

### 募集期間

平成27年1月30日(金)～2月13日(金)

### 提出方法

Eメール、ファクシミリ、又は郵送のいずれかの方法で、ご意見をお寄せください。

- Eメール S0000572@section.metro.tokyo.jp
- ファクシミリ 03(5388)1327
- 郵送 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

### 問い合わせ先

生活文化局文化振興部企画調整課 電話 03(5388)3151

### 東京文化ビジョン 素案

平成27年1月30日 発行

**編集・発行** 東京都生活文化局文化振興部企画調整課  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5388)3151 FAX 03(5388)1327  
Eメール S0000572@section.metro.tokyo.jp

**東京都の文化政策ホームページ**

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/index.html>

**制作** (株)美術出版社

〒102-8026 東京都千代田区五番町4-5 コスモビル2階  
電話 03(3234)0807 FAX 03(3234)9451  
<http://www.bijutsu.co.jp>